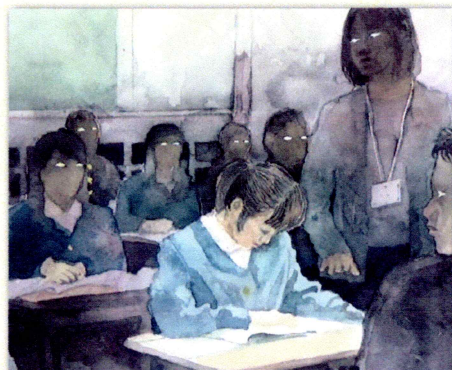


HPVワクチン! それでもあなたは、打ちますか? 私たちの声を聞いてください! 子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)被害者は訴える

お医者さんからは心因的と言われ続けてきました。脳機能障害という診断を受けました。なのに私たちを見てくれません。



子宮頸がんワクチン接種の経緯

2009年 日本で承認

2010年 緊急促進事業として積極的勧奨開始

2013年4月 定期接種開始

2013年6月 **積極的勧奨中止** 無料で接種できるが国は接種を積極的に勧めない



厚生労働省、副反応検討部会は、2021年11月 子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐワクチンの接種について、安全性や効果を検討して来たが「積極的勧奨」を妨げる要素はないとした。HPVワクチンは2013年4月定期接種となったが、その前後、接種後に体の広範囲が痛むなどの「多様な症状」の訴えが相次いだ。そのため同年6月に定期接種の位置付けは維持する一方、対象者に個別に接種を呼びかける積極的勧奨を中止していました。2022年4月から定期接種として積極的勧奨を再開するよう全国の自治体に通達を出しました。

上映会のご案内

子宮頸がんワクチン問題を考える！

『私たちの声を聞いてください』 DVD50分
子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）被害者は訴える！

※2022年4月に厚生労働省は10年間自粛していたHPVワクチンの接種の小学6年生から高校3年生の生徒さんへ『積極勧奨』を再開しました。

その間も、今現在も被害者の方々は苦しんでいます、そして、訴訟中です。ワクチンの内容が改善されたとは聞こえてきません。一緒に考えてみませんか。

◎日時：11月9日（水）18時～20時（開場 17時30分）
上映時間50分
澤則雄監督と意見交換

◎場所：浦和コミュニティセンター（浦和駅東口パルコ10階）
第13集会室

◎参加費：500円 学生・事情のある方など無料

◎問合せ：090-4938-8689（大坂）
k-reds@symphony.plala.or.jp

主催：埼玉障害者市民ネットワーク